

授業科目名	地域の医療と福祉	担当教員	星 雅丈
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 3 クォーター		
講義内容	<p>講義内容わが国では少子・高齢化や経済の低成長に伴い、国民生活を守るための「社会保障」の今後が不安視されている。10%の消費税増税は、概ね社会保障への用途とされているが、現在の制度における課題の解決がまず必要である。本講義のテーマである「医療」「福祉」はその社会保障の一部である。本講義の前半では、主にわが国の社会保障のうち、医療・福祉の制度全般について、その運営体制や実施を担う専門職について学ぶ。さらにドキュメンタリー映画の視聴を通じ、諸外国とわが国の社会保障制度との違いについても理解する。</p> <p>本講義の後半では、地域において実際にどのように医療・福祉のサービスが提供されているかについて学ぶ。例えば、施設のバリアフリー化を進めるためにどのような福祉制度が利用可能か、地域ではどのようにしてユニバーサルデザインを推進しているかなど、具体例を元にグループワーク（以下、GW）などを交え共に考える講義を行う。</p>		
到達目標	<p>1) わが国の医療・福祉制度について、仕組みや具体的内容を説明できる。</p> <p>2) わが国と諸外国の社会保障制度の違いを説明できる。</p> <p>3) 地域における医療・福祉の制度の運用と実態について説明できる。</p> <p>4) 医療・福祉制度を鑑みて地域の諸活動の計画等につなげることができる。</p>		
授業計画	<p>1 ガイダンス： 社会保障を学ぶ意義、社会保障の概念と給付の仕組み</p> <p>2 医療保険制度①： 医療保険制度の沿革と必要性、制度の概要</p> <p>3 医療保険制度②： 高齢者の医療制度と医療提供体制の実態</p> <p>4 介護保険制度： 介護保険の仕組みと介護サービスの提供体制</p> <p>5 生活保護と社会福祉制度： 生活保護・福祉サービスの仕組みと給付</p> <p>6 他国の社会保障制度： ドキュメンタリー映画に学ぶ米国等諸外国の制度</p> <p>7 地域の医療と福祉： 地域における制度の運用と実施体制、実態と問題点</p> <p>8 医療・福祉制度のまとめ、【中間試験】、GW の課題提示と準備</p> <p>9 地域の医療・福祉 講義と GW①：ユニバーサルデザインの推進と現状</p> <p>10 地域の医療・福祉 講義と GW②：バリアフリー実現のための制度と実態</p> <p>11 地域の医療・福祉 講義と GW③：高齢者の見守りと看取り</p> <p>12 地域での医療・福祉サービスのまとめ、地域を支える社会保障とは</p>		
事前・事後学習	<p>グループワークでは事前に課題を与える。事前学習として必ずグループで調査し検討すること。各回講義では事後学習が重要である。配布した講義資料、提示スライド、ノートを合わせて読み返し、理解を深めるよう努めること。</p>		
テキスト	<p>適宜、資料を配布する。</p>		
参考文献	<p>『袋小路の向こうは青空』，鷹野和美著，法研，2008。（Kindle 版にて無料）</p>		

成績評価 の 基 準	<p>S： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、わかりやすく説明ができ、かつ問題点を的確に指摘できている。</p> <p>A： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、関連するキーワードを挙げ、わかりやすく説明することができている。</p> <p>B： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、関連するキーワードを挙げ、概要を述べることができている。</p> <p>C： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、関連するキーワードの理解において最低限の水準を満たしている。</p> <p>D： 上記の基準に達していない。</p>
履修上の注意 履修要件	グループワーク（GW）では事前に課題を提示する。必ずグループで調べ検討した内容をまとめた上で次回の講義に臨むこと。
実践的教育	該当しない。
備考欄	<p>成績評価方法は以下の通りとする。</p> <p>期末試験：60%、中間レポート：20%、GW 課題の取り組み：20%</p>